

中学生の「税」についての作文

市税務課では、納税意識の高揚を目的に、次代を担う中学生を対象に「税についての作文」を募集しました。この中から最優秀賞である小松島市長賞を受賞された立江中学校3年の瀧口らなさんの作文を紹介します。

「次世代に受け継ぐ税金の大切さ」

立江中学校3年

瀧口 らな



今年に入り、税金について考える機会が増えたように思います。それは、税金が身近なところで使われているというのを知ったからです。四月に、消費税は五%から八%

へ増税されました。つまり、今までは百円のものを買うときに消費税がプラスされ百五円払っていたのを百八円払わなければならなくなったという事です。経済的な面でも、この制度をすることにより反対意見もたくさんあったと思います。私が以前、母と買い物へ行ったとき、多くの人が集団になって横断幕を持ちながら歩いていました。その人たちは、

「消費税、増税反対!!」と叫んでいました。そのときは特に何も思わなかったけれど、家に帰ってよく考えてみると、あの時なぜ反対デモが起こっていたのか私にはよくわかりませんでした。税金は私たちのとても身近なところで役に立っています。去年、私たちの学校で行われた耐震工事では、近々起こるといわれている南海地震へのために、体育館が工事されました。また、授業で使われている教科書は国の援助により無償で配布されています。火災が起こったときに消防車を呼んだり、病気等で救急車を呼んだりできるのも全て無料です。このように、税金は私たちの暮らしを助けてくれる。欠かせない存在となりました。だけど、「増税」というその一言だけを聞いて嫌悪感をもつ人もいて、税金のありがたさを知らずに増税に反対するなんて、あり得ないと思いましたが、もし、税金という仕組みがなければ、生活をする上で不便なことも多々でてくるでしょう。

私はこれらをふまえて、税金は国を支えるものだと思います。だから、税金を大切にすることは国を大切にすることにつながると思います。私たち国民が日本に住んでいる良かったと思えるようにするために、私が今できることを一生懸命することが重要だと思います。来年から高校生になる私は、教科書の無料配布が今年で最後になります。だから今まで頂いた教科書をしっかりと読んで、たくさん勉強し、「小学校の先生になる」という私の幼い頃からの夢を叶えたいです。そして、日本のために頑張って働いて、きちんと納税ができる大人になりたいです。

日本は今、安全でとても過ごしやすい国だと思います。それは、「税金」という土台とそれをするための人々の協力のおかげだと思います。私たちは、日本をもっとより良

くするために努めなければいけないと思います。そして次世代へ受け継いでいこうと思っています。そして今まで税金を納めてくれた人への恩返しをしていきたいです。

平成26年度の「税についての作文」優秀作品の表彰を受けた方は次のとおりです。(敬称略)

【小松島市長賞】

立江中学校3年 瀧口 らな

【審査委員特別賞】

小松島中学校2年 井原 奈桜
 坂野中学校3年 堀本 麗央奈
 立江中学校3年 角矢 遥輝

【入選】

小松島中学校2年 大田 佳歩
 小松島中学校2年 黒田 美月
 小松島中学校2年 小谷 春陽
 坂野中学校3年 沖 和奏
 坂野中学校3年 米崎 彩乃
 立江中学校3年 岩本 広美